

2月15日～3月15日に開かれた2月の定例会議で、日本共産党の3議員は一般質問および予算特別委員会全体質疑で以下の諸問題をとりあげました。

## 子ども食堂の補助金の存続を

「子ども食堂」は、3年間の補助で県下115か所にひろがり、全国2番目。ふしき県議は「子どもの貧困にいつそう支援がある時に、わずか1000万円を削るのか」と知事に迫り、補助金の継続を求めました。



ふしきみちよ  
節木三千代 議員

その他の一般質問

- 児童虐待防止の対策
- オスプレイの飛行
- 特別支援学校の修繕
- 国民健康保険
- 医療的ケアを必要とする児童生徒の通学保障

## 国体施設整備費の大幅削減を

彦根主会場（200億円）、新県立体育館（90億円）、草津市のプール（約100億円のうち65億円）など総額500億円を超える県民負担。草津市民アンケートで、7割が「見直すべき」としています。「国体施設整備費の大幅削減を」と主張しました。



ふじみえこ  
藤井三恵子 議員

その他の一般質問

- 種子法廃止以降の県独自の条例化
- 第3期滋賀県教育振興基本計画
- 県立学校トイレの様式化促進整備
- 看護職員指導管理費
- 医師確保総合対策事業
- 発達障害者支援事業

## 消費税増税の便乗値上げやめよ

38件の公共料金値上げの条例改正で、県民負担は1億2千万円増。杉本県議は「消費税増税の便乗値上げはやめよ」と主張しました。



すぎもととしたか  
杉本敏隆 議員

その他の一般質問

- 高校全県一区制と周辺地域の衰退
- 次期滋賀県基本構想
- 湖底の荒廃と改善
- 杉本哲郎作「舍利供養」の保存・展示
- 水産振興対策
- 丹生ダム建設中止に伴う地域整備事業

2月定例会議に出された請願 (○賛成 × 反対)	日本共産党	自民党	チームしが	公明党	良知会
国体費用削減し、県民の暮らし応援	○	×	×	×	×
県独自の給付型奨学金制度の創設	○	×	×	×	×